

ヨーロッパ・イギリス



# 留学体験談

先輩が語る！

所属：社会・生命環境学群生物資源学群

留学した時期・学年：2014.9～2015.5・4年次4年～5年次4年

留学した大学：エディンバラ大学

留学先での専攻・所属：Geography・School of GeoSciences

奨学金の有無・奨学金の名前：無

## 【留学について】

### Q1. 留学の目的、動機などを教えてください。

英語で自分の専門分野を学ぶため。海外に長く身を置き、異なる文化を肌で感じるため。

### Q2. 留学先にその大学（国）を選んだ理由を教えてください。

数ある英語圏の国の中で、イギリスにはあまりなじみなく、イギリス英語があまり得意でなかった。また、ヨーロッパ文化に強い興味を持っていた。そこで、エラスムス制度などでヨーロッパ圏の学生が多く集まるイギリスに留学しようと考えた。

## 【大学について】

### Q1. 留学した大学の校風を教えてください。

自由。その分責任は取りなさい、という雰囲気。なお、「この大学からはたくさんの著名人が出ているのだから、君たちもそうなれる。そのために一生懸命勉強しなさい」ということを一度は言われる（はず）。

### Q2. 留学した大学での学生の様子を教えてください。

勉強熱心。図書館は7時半から開くが、試験前は9時には席がなくなる。一方、家にこもりっきりで勉強している人もいる。遊びも熱心。学内や学校近くにパブがあり、時間のある日や試験後によく行っていた。旅行に出かける人も多い。

### Q3. 留学した大学での留学サポートについて教えてください。もし利用していたら、その様子も教えてください。

International Student Centerがあります。カフェ、イベント、旅行を企画しているようだが、一度も利用したことはない。他の日本人交換留学生在が利用した話を聞き、一回くらい行けば良かったかも、と感じた。余談だが、オフィスの場所が非常に分かりづらい。

Facebookでは、Exchange365という交換学生向けのコミュニティーがある。いろいろな情報交換がされていた。

### Q4. 留学先で入っていたサークルなどがあれば教えてください。また、どのような活動をしていましたか。

Japanese Societyに入会していたが、結局2回くらいしか行かなかった。活動は毎週一回だった。内容は、すしパーティー、お月見パーティーなど。サークルではないが、ピアノの個人レッスンを週に1回受けていた。

## 【学習について】

**Q1. 留学先ではどのような授業を取っていましたか。授業数も覚えていたら教えてください。**

1学期に3つずつ、計6つ。授業名は以下の通り：

Environmental Sensitivity and Change  
Qualitative/Quantitative methods of Geography  
Remote Sensing and Global Climate Change  
Geomorphology  
Geography of Wine  
Drawn from the City

**Q2. 留学先で一番印象に残っている授業はどの授業ですか。簡単に内容も紹介してください。**

Geography of Wine

ワインについて、歴史、宗教、環境、地形、栽培、マーケティング、グローバル化などの視点から多角的に学ぶ授業。最終回にはテイスティングを行った。

**Q3. 筑波大学での授業の様子と比較して、留学先での授業はどうでしたか。気づいた点があれば何でもよいので教えてください。**

ひとつひとつが重なった。筑波大学だと、楽単とそうでないものがあるが、こちらの授業はどれをとってもそれなりに大変。

**Q4. 留学先での学習において、もっとも必要だったと思うアカデミックスキルは何ですか。（ライティング、スピーキング、リスニング、リーディング、リサーチスキル、クリティカルシンキング、コミュニケーション能力など）**

全部。特にリスニングとライティング。リスニングは講義についていくために、ライティングは課題をやるために必要。

**Q5. 上記に回答した内容で、留学に行く前にできるだけ身につけておけば良かったと思うスキルはありますか。**

ライティング

**Q6. 留学に構えて、どのような準備学習を日本で行いましたか。また、おすすめの学習法があれば教えてください。**

**【語学について】**

アプライ前までは、TOEFL、途中からIELTSの勉強。アプライ後は、BBC Learning English、CNNでの勉強。

**【語学以外について】**

留学前の春学期に、G30のGeomorphologyをとっていた。留学後の反省としては、ニュースだけでなく、映画や小説にもっと触れておくべきだった。他の学生と交流を深めるのに役に立つ。

**Q7. 留学先での指導員、もしくは授業の担当教員とのコミュニケーションはどうでしたか。なにか気づいた点があれば教えてください。**

かなりよくとれていた。メールをすればほぼその日の内に返信がきた。先生によっては、エッセイ（詳しくは後述）のフィードバックのため個別の面談を設けてくれた。ちなみに、学部生には、学年・正規非正規を問わず、自分の専攻の教員の誰かひとりが、Personal Tutorとしてつく。論文の指導教員とまたは違う。私はかなりお世話になった。エディンバラの他の学生に話を聞くと、コミュニケーションのとれ具合は人によるらしい。

**【ライティングについて】**

**Q1. 留学前に、どのようなライティングの学習をしましたか。**

TOEFLとIELTSのみ。

**Q2. 筑波大学でのレポート（日本語、外国語）と比較して、留学先でのレポートはどうでしたか。**

筑波大学では実験レポートと一つの文献のまとめレポートくらいしか書いたことがなく、課題に対して、複数の文献の引用と自分の得意によって答えるタイプのものに慣れていなかった。留学先でのレポート（エッセイと呼ぶ）はすべて後者だったので、苦労した。

**Q3. 学先のレポートで困ったことがあった時、どのように解決しましたか。**

そもそもエッセイが何物か分からなかったので、いろいろな人に頼ることになった。友人に、エッセイとは何かを説明してもらった。パーソナルチューターにエッセイ課題を見せ、エッセイプランを一緒に作成した。学内にあるInstitute of Academic Development (IAD)という機関の、個人相談サービスを利用した。

**Q4. 留学先にライティングセンター（もしくは類似する学習支援機関）はありましたか。**  
IADがそれにあたる。利用しなかったが、学生が運営する、留学生向けのエッセイの文法・スペル・チェックのサービスがあるらしい。

**Q5. 上記の期間を利用していたら、その様子を教えてください。**  
IADは予約制で、相談相手は学生でなく、職員の方。フレンドリーで何でも教えてくれる。

## 【生活について】

**Q1. どのような部屋に住んでいましたか。（寮、アパート、ルームシェア、ホームステイ等）**

大学の寮。Warrender Park Crescentという名前の、Self-Cateredの4人用フラット。6~7量の大きさの個室と、バスルーム&キッチン（シェア）があった。洗濯機は各階に1つずつあった。

**Q2. その部屋はどのようにして探しましたか。**

専用のwebサイト(<http://www.accom.ed.ac.uk/>)で。募集は交換留学とは別で、かつ少し早かった。寮は確か2か月頃には申し込めたはず。

**Q3. 部屋を決めるときに注意やアドバイスなどがあればお願いします。**

寮の場合、まずCateredかSelf-Cateredかがポイントになる。Cateredは値段は高いが、便利だし、交換留學生の利用数も多い。Cateredの場合（私の知る限り）Pollock Hallsに入ることになる。Self-Cateredの場合、もっと候補が広がる。部屋の様子、家賃や立地を考慮して選ぶというのはつくばと変わらない。寮以外だと、はじめホステルなどに泊まって現地で部屋探しするという手もあるが、シェア相手も同時に探さなければならないので、大変そう。

**Q4. 留学先では、どのようなスーパー、お店を利用していましたか。おすすめやアドバイスがあればお願いします。**

Lidl、TESCO、Sainsbury'sといったチェーンのスーパーが主。日本食が恋しい時には、愛花、星光便利といったアジアスーパーを利用した。自然食品店も利用した。肌が敏感だったので、化粧品が必要ななどは特に。

Q5. お金の管理はどのようにしていましたか。奨学金や親からの仕送りなど、どのように受け取っていましたか。（現地銀行口座の開設、日本の銀行口座から送金、国際銀行の口座開設、クレジットカードでのATM利用など。

JTB moneyT Globalというカード（キャッシュパスポートのようなもの）を日本で作って持って行き、さらに現地で現地銀行口座を開設した。

Q6. 留学先でアルバイトはしていますか。もしアルバイトをしていたら、その様子を教えてください。

していなかった。

Q7. 留学先での人間関係を築くにあたって、大切だと思うことがあれば教えてください。また、日本での人間関係との差異もあればお願いします。

伝えたいことは言語化すること。お互いの考えを尊重すること。

Q8. 大学以外でもコミュニティーに参加しましたか。もし参加していればその様子を教えてください。

寮のコミュニティーがあった。

地元の環境コンサルティング会社でボランティア活動をしていた。

## 【治安について】

Q1. 留学した大学、留学先の街の治安はどうでしたか。

よかった。

Q2.安全に暮らすための注意やアドバイスがあればお願いします。（危険な地域、しないほうがいい行動など）

図書館は2時半まであいていますが、基本は日付が変わる前に帰ったほうがいいと思います。

## 【経済面について】

Q1. 留学全体でどれくらいかかりましたか。  
語学試験受験なども合わせて200万円弱。

Q2. 留学先での滞在費はどのようにまかなっていましたか。  
(奨学金、仕送り、現地でのアルバイト、留学前のアルバイトで貯金など)  
仕送り。

Q3. 1ヶ月の支出について伺います。

項目	現地通貨	日本円
食費	£ 100	
家賃・寮費	£ 500	
光熱費	(上に含まれる)	
交通費 (通学)	£ 0	
交際費	£ 20 (お茶など)	
旅行費	£ 0~300	
その他	£ 50~	
合計	£ 670~	

# 【留学を目指す人へのメッセージ】

留学準備はひとつの通貨点にすぎません。それだけにとらわれず、筑波大学でできることにいろいろ挑戦してください。何か強みを持つと、きっと役立ちます。私の場合は、それが音楽でした。音楽を通して、留学生コミュニティーにとどまらない人間関係を築くことができました。